

「中国・アジア」ダイジェスト

2013.07.01-07.12

*記事は東京発行・最終版

CHINA

7月1日(月)

オイレス工業、蘇州工場を拡張

海外4カ国で自動車用軸受を増産

オイレス工業は、中国など海外4カ国で自動車用軸受を増産する。中国では蘇州の工場を拡張、主に日産自動車などの現地調達ニーズに対応する。タイ、米國などでも拡張し順次稼働する。(5面)

7月2日(火)

トヨタ、新小型車を投入

中国などノラインアップ強化

トヨタ自動車は、新興国市場に「Aセグメント車」と呼ばれる小型車の投入を検討する。中国と東南アジア、インド、ブラジルの各国を重点地域に、小型車のラインアップを強化。(3面)

若手社員、中国に短期派遣

ジョンソンコントロールズ

ジョンソンコントロールズは、ビルシステム事業の入社46年目の若手社員25人を中国に短期派遣する。江蘇省の自社工場や上海オフィスを訪問し、自社の中国事業の理解を深める。(7面)

東光、珠海工場フル稼働

スマホ向けコイルノ月産1億個

東光は、珠海工場で2月に立ち上げたスマートフォン向けコイルの生産能力を9月をめどに1億個に引き上げる。アップルのほか、新興メーカーからの受注が拡大。(9面)

7月3日(水)

リョービ、大連で生産

エンジンブロックノ年35万丁

リョービは、大連工場でアルミダイカスト製の自動車用エンジンブロックの生産に乗り出す。上海GMの瀋陽工場に年間35万丁を納入する。約20億円投資、大型鋳造設備を7台導入する。(1面)



上海国際工作機械見本市が開幕

1000社出展

上海国際工作機械見本市が、開幕した。約1000社が出展。日本勢も世界最大の市場・中国での売り込みに力が入る。景気の減速が懸念される中、自らが市場創出を図ろうと意気込む。(6面)



上海国際工作機械見本市

7月4日(木)

横浜ゴム、中国から1万本調達

建設車両用タイヤ

横浜ゴムは、生産委託先である中国の山東興達輪胎から2014年に建設車両用ラジアルタイヤ1万本を調達する。中型車

両用など10サイズ程度を供給するめどが立った。

(7面)

電子書籍の制作、中国語版

スターティアラボ

スターティアラボは、電子書籍制作サービス「アクティブック」の中国語版対応を完了、台湾で提供を始めた。閲覧用アプリと作成ツールの管理画面を簡体字と繁体字の中国語に設定できる。(11面)

ナガオカ、北京に販社

水処理・エネ機器ノ現地2工場稼働

ナガオカは、北京市に水処理装置や石油化学関連機器の販売会社を設立する。瀋陽の販社に次ぐ中国第2の販売拠点。現地合弁生産2拠点が7月稼働するに伴い営業体制を強化。(12面)

7月5日(金)

日立化成が新調達指標

コスト優位地域からノ3割

日立化成は、コスト競争力の高い地域(LCC)からの調達を指標とする購買戦略手法を導入する。国内で2割に高める。LCCは中国、台湾、韓国など産業集積が進んだ地域。(1面)

7月8日(月)

理化工業、タイ進出

現地鋼材商社と合併

理化工業は、7月中旬にタイの鋼材商社ジュタ・ワン・メタル(JTW)と現地に合併会社を設立する。理化工業の技術指導で、3年後に3倍超となる年間売上高5億円を目指す。(1面)

タイに自動車部品の現地法人

シバサキ製作所・東京鉄兼

シバサキ製作所と東京鉄兼は、折半出資で、タイに自動車部品の現地法人、シバサキT&Bタイランドを設立した。自動車のエンジンやブレーキ向け機能部品の量産を準備する。(5面)

鴻海、コネクタを分社

日本の電子部品の強力ライバルに

台湾・鴻海精密工業が、近くコネクタ事業などを分社化する。世界一のEMSイメージが定着しているが、電子部品メーカーとしての一面を持つ。日本の電子部品の強力なライバルに。(8面)



郭台銘董事長は3年以内の上場を目指す(ブルームバーグ)

7月9日(火)

親会社のタイ生産拠点を活用

バルブ構成部品ノ日本電産トーソク

日本電産トーソクは、日本電産のタイ生産拠点で無段変速機用コントロールバルブ構成部品の生産を始める。親会社の拠点や設備を使うことで、投資額を抑えながら受注増加に対応する。(5面)

比でクラウドソーシング

ランサーズノ現地日本人登録

ランサーズは、クラウドソーシング(不特定多数者への業務委託)事業で、フィリピンに在住している日本人のネットワークを構築する。在住者の収入源として提案する。(21面)

7月10日(水)

サントリー食品、東南ア増産

国内は自販機増強

サントリー食品インターナショナルの鳥井信宏社長は、株式上場後に強化する領域は「東南アジア子会社を強化し、需要拡大に応じて生産ラインを増強する」。国内は自動販売機増強。(13面)

プリンター専用ショールーム

キヤノンノ上海浦東新区

キヤノン(中国)は、中国では初めての業務用プリンター専用ショールームを上海市浦東新区にオープンした。販売を毎年2-3割のばし、全ての製品分野でシェア3割以上を目指す。(時事=3面)

ファナックなどロボ連盟加入

104社ノ団体に

ファナック、三菱電機、スイスABBなどの大手産業ロボットメーカーが、中国のロボット工業団体「中国ロボット産業連盟(CRIA)」に7月から加盟した。メンバーは104社・団体に。(6面)

7月8日(月)

オフィス複合機を拡充

富士ゼロックスノ上海開発アジア向け

富士ゼロックスは、アジア市場向けオフィス複合機を2機種に拡充する。上海の開発拠点を活用して小規模オフィス向けに開発した新製品を7月から順次、東南アジア市場に投入する。(9面)

7月9日(火)

キトー、中国で増産

ホイスト40%増ノ年7万台

キトーは、中国で工場用ワイヤロープ式巻上機(ホイスト)の年産能力を40%増の7万台に引き上げる。江蘇省の工場設備を増強。東北部や内陸部の地場企業への設備投資に対応。(6面)

7月10日(水)

特許、早期取得で新ルール

日米欧中韓ノ出願コスト低減

特許庁は、米・欧・中・韓と共同で、企業が特許権を早期取得できる枠組みをつくる。9月の5大特許庁(EP5)長官会合で合意を目指す。出願コスト低減や権利化の期間短縮に。(1面)

スマートTV「アクオス」投入

シャープノ中国向けレノボと共同

シャープは、中国向け液晶テレビ「アクオス」の新製品を発売する。レノボと共同開発したネット視聴が可能なスマートテレビ6モデルを投入。アンドロイド



北九州市を訪問

インドネシア協会、北九州訪問

産業と環境ノ両立の秘密探る

産業と環境が両立できるのはなぜですか。インドネシア日本友好協会は、環境行政の取り組みを視察するため北九州市を訪問した。「スマートコミュニティ創造事業」などを見学した。(35面)

7月11日(木)

タスコ、東南アにフロン回収機

空調用工具で海外進出

タスコジャパンは、2014年度に国内シェア約6割で業界首位の空調用工具で海外進出する。強みのフロン回収機や据付型フロン検知システムなどを東南アジアでも展開する。(7面)

クラウド開発、ベトナム移管

サテライトオフィス

サテライトオフィスは、ベトナム・ホーチミンの現地法人「サテライトオフィス・ベトナム」に、クラウドコンピューティング関連のシステム開発・運用業務を移管する。(9面)

ガルダ航空が貨物専用機

日中韓など就航検討

ガルダ・インドネシア航空は、貨物専用機の運航を2014年にも始め、貨物事業を拡大する。貨物専用機の導入を計画。日本のほか、中国や韓国などアジアの各都市への就航を検討。(18面)

総合車両、印・東南ア・欧開拓

2015年度売上高ノ2倍約400億円

総合車両製作所は、鉄道車両の海外販売に再参入し、インド・東南アジア、欧州にステンレス製車両を売り込む。国内は保守性の良さを訴求し拡販。2015年度に売上高を2倍の約400億円に。(6面)



ステンレス製の新型車両「サスティナ」(総合車両製作所)

7月12日(金)

DTS、ミャンマーに進出

タイ現法を東南アのハブに

DTSは、東南アジアに進出する日系

OSを搭載、4680丁。(3面)

日中にCVT製造拠点

三遠機材ノ製造に本格進出

三遠機材は、静岡県湖西市と中国・浙江省に自動車用無段変速機部品の製造拠点を新設する。製造に本格的に乗り出す。仕入れ先に対する生産支援と客先への供給体制を強化。(5面)

7月11日(木)

建機、6月の中国販売プラス

6丁以上ノ油圧ショベル好調

建設機械メーカーの6月の中国販売はプラス成長となった。6丁以上の油圧ショベルの販売でコマツが31%増と5カ月ぶりに、日立建機は3カ月連続で前年同月実績を上回った。(6面)

中国にLPG直接供給

ENEOSグループノ4万4000丁

ENEOSグループは、中国の石油化学プラント向けにLPG供給を始めた。天津渤石化に中東産プロパンガス約4万4000丁を納入した。中国に直接供給するのは初めて。(18面)

7月12日(金)

山善、ショールーム上海で増設

中国・香港・台湾で拠点網を整備

山善は、中国で事業拠点を拡充する。現在の3倍の広さのショールーム兼改造室を上海市で増設する。中国と香港、台湾で統合情報システムの整備と併せ拠点網を強化する。(6面)

TELOP

三井住友F&L、成都に支店

日系に建機ノ工作機械リース(2日15面)

トヨタ・富士重が増加

6月の中国新車販売(4日7面)

大塚HD、人工関節事業買収

中国子会社ノ米社から(5日11面)

日立造船、大連工場が完成

水処理装置ノ年産2000丁(11日6面)

卓上加湿空気清浄機、中国に投入

パナソニック(11日8面)

今回は -

「中国・アジア ダイジェスト」面の
次回は29日(月)に掲載します。

中国で第1b相臨床が完了

肝線維症治療薬ノGNI(11日14面)

日用雑貨品卸会社2社を買収

伊藤忠(11日19面)

立命大、中国人学生に短期研修

共同学部での学習意欲向上(11日24面)

中国でドラム缶2直生産体制に

JFEコンテイナー(12日11面)

ひと

中国勢には勝てない

「まともにコスト競争しても中国勢には勝てない」と製品戦略を柔軟に変更するのは、日下部機械社長の義原寛秀さん。「競合の弱い分野で差別化を図る」のが基本だ。得意とするボイラ設備製造装置では精度とスピードが評価され、米国で初受注が決まった。(2日=21面)

々(中国)々から世界に飛躍

「中国政府のロボット産業にける期待は大きい」と話すのは安川電機執行役員の南勝勝さん。常州市に同社初の海外ロボット工場をオープンした。現地法人の名前は「安川(中国)機器人」。々(中国)々という記述は珍しい。中国の工場から世界の工場へと飛躍を期す。(4日=9面)

まったく別物

「中国国内で売られている化学合成しょうゆと当社の本醸造しょうゆは、まったく別物。競合商品とは思っていない」とキッコーマン社長の堀切功章さん。「いずれ本醸造を造るところが出てくるだろう。その時に備えてキッコーマンブランドをさらに堅固に」。(9日=15面)

ASIA

7月1日(月)

日台で貿易円滑化

電気製品の安全規格相互承認

日本と台湾は、電気製品を輸出する際に相手国・地域で義務付けられる安全規格の認証を取得できる相互承認の取り決めを1日に実施。6月末で台湾内の手続きが完了した。(2面)

三井造船、造船でインド進出

バラ積み船ノ建造技術を供与

三井造船は、造船事業でインドに進出する。現地の大手造船会社にバラ積み船などの建造技術を提供する。中計の骨子は製造事業の变革、エンジン拡大、事業参画・周辺サービス拡大。(9面)

7月2日(火)

インドで小型車投資を凍結

トヨタノ「エティオス」伸び悩み

トヨタ自動車は、インドで小型ガソリンエンジンの铸造・機械加工ラインを新設する計画を凍結した。新興国向け小型戦略車「エティオス」用のエンジンの铸造・機械加工ライン。(1面)

タイで鍛造用誘導加熱装置

ウチノノ日系自動車部品向け

ウチノは、タイ工場を完成、鍛造用誘導加熱装置の生産を始める。コンバクトでメンテナンスが容易な廉価タイプ。タイに進出した日系自動車部品メーカーや東南アジア各国へも売り込む。(6面)

郵船ロジ、カンボジア進出

ロバレル拡大ノ日系向け物流

郵船ロジスティクスは、カンボジアに全額出資子会社を10月に設立し、現地で物流事業に本格参入する。現地ではロバレルなどを中心に輸出が拡大しているほか、日系企業の進出も相次ぐ。(13面)

7月3日(水)

韓・米でリンを肥料に再利用

旭化成ケミノ下水処理

旭化成ケミカルズは、米国と韓国で、下水処理水に含まれるリンを吸着剤で回収して肥料に再利用する事業に2017年度参入する。水質基準が厳しい両国でも需要が見込めると判断した。(1面)

ハノイなどに中小の相談窓口

ジェトロノ法律事務所などネット化

ジェトロは、ベトナムのハノイとホーチミン、タイ・バンコクの3都市で「中小企業海外展開現地支援プラットフォーム」を開設。日本大使館、法律事務所などをネット化し相談に対応。(時事=3面)

豊田合成、インドネシア増産

エアバッグ5倍ノホイール1.5倍

豊田合成は、インドネシア・ボゴール市にある生産子会社で2016年までにエア



ホーチミン事務所の社員と話す服部専務

7月4日(木)

インドネシアにサービス工場

マルカキカイノ産業機械

マルカキカイは、インドネシアに現地販売子会社を通じてサービス工場を設置する。建物や設備をレンタルして、自社で販売するプレス機や工作機械といった産業機械の部品修理を始める。(3面)

タイでCNC旋盤を増産

シチズンマシナリーミヤノ

シチズンマシナリーミヤノは、タイ・アユタヤ工場中で・低価格のCNC旋盤を増産する。7月以降は月100台の生産。東南アジアで自動車関連の需要が回復。欧米からも受注増加。(8面)

住友建機、フル稼働

油圧ショベルノASEAN輸出

住友建機は、2013年秋にも油圧ショベルのインドネシア工場をフル稼働体制に移行する。ASEANに輸出する。13丁機をベース車両にした林業仕様の小型機を投入、現地生産機種を拡大。(9面)

東芝、ミャンマーでDC受注

モジュール型ノビル建設不要

東芝は、大和総研がミャンマー中央銀行に納入するDCをKDDIと共同で受注。受注総額は約5億円。東芝が海外の商用DC受注は初めて。納入するのはモジュール型でビル建設が不要。(10面)

7月5日(金)

シンガポール鉄道にモーター

海外向け初ノ東芝

東芝は、シンガポールの鉄道事業者SMRTから車両用の永久磁石モーターシステムを受注。東メトロなどで採用。海外の実用車両向けでは初めて。受注金額は約80億円。(8面)

三谷産業、ベトナム工場増設

健康食品向け機能性素材

三谷産業は、ベトナムの健康食品向け

かけはし

「秋にベトナム営業拠点を開設する。より取引先の近くに迅速にサービスを提供できる体制になる」と熱く語るのは、サンテクノス社長の山本勢さん。ベトナムに拠点を置くのは初めてで「商社としてベトナムと日本のモノづくりをつなぐかけはしになりたい」。(4日=11面)

シンガポール最高勲章

昭和電工の高橋恭平会長がシンガポール政府から最高勲章「パブリック・サービス・スター」を受賞した。積極投資による技術革新と雇用創出への貢献が評価された。「主力事業のハードディスクはこの地で飛躍した。グループの従業員にとっても大変名誉なこと」。(10日=3面)